

道岳連だより

広報 NO.62
平成23年8月27日
北海道山岳連盟

<http://www.hokkaido-HAA.net/>

夏に磨き、夏に鍛える



各委員会事業報告

指導委員会

登攀研修会 5/14-15 室蘭岳山麓総合公園研修所・チャラツナイ海岸

平成23年度の登攀研修会は、5月14日～15日に室蘭市の室蘭岳山麓総合公園研修所と地球岬周辺チャラツナイ海岸ゲレンデにおいて9名の参加者とスタッフ4名で実施された。今回は、昨年11月富山県立山の国立登山研修所で行われた「登攀研修」の伝達講習を中心に ①制動確保か

らの自己脱出 ②自己脱出からプルアップ(3分の1引き上げ) ③自己脱出からプルダウン(ロープ結び目通過) ④背負い搬送(カウンターラッペル) ⑤クライミング、懸垂下降の内容で、参加者はロープレスキューの実技、初めて体験する難解なロープ結びやカウンターラッペルなどに真剣に取り組んでいた。

報告 指導委員長 明田 通世

上級山岳指導者養成講習会 6/4-5 日高登山研修所

平成 23 年度の上級山岳指導者養成講習会は、6 月 4 日～5 日の二日間にわたり道岳連日高登山研修所及び上滝ロックにおいて実施された。受験者 16 名(男 12 名、女 4 名)は ①岩登り、懸垂下降、自己脱出の基礎理論 ②制動確保、登攀、懸垂下降、自己脱出の実技を熱心に取り組んでいたが、登攀技術の基本を学び実践を行い、指導することの難しさに受験者は汗だくの様子で、休む間もなく日山協が最も力を入れているセルフレスキューを実践、自己脱出をスムーズに行うにはフリクションノット、マリーナヒッチ等々次から次へ言葉が出てきたり、懸垂下降でのつなぎ目の通過に手間取るなど、「もう身体がついていかない」の悲鳴も。

明田指導委員長は「今年は山登りを二の次にして、受験者は上級指導員(アルパイン)を目指し、研鑽を積んで目的を達成してほしい」と激励している。夏季の検定会は 10 月に実施される。



沢・登攀研修会 6/18-19 滝野自然学園・漁川

今年度の沢・登攀研修会参加者は 20 名で、一日目は益田、芳澤両講師より「沢登りの楽しさ」、「渡渉技術」の講義のほか、外部講師として秀岳荘の吉田氏から「GPS の使い方、パソコン入力、活用方法 e t c」を学ぶ。

二日目は、漁川でスクラム渡渉、ロープの張り方、懸垂支点の取り方、高巻き、へつりの判断と実践、スローパックを使った救助、泳ぎの実践とシャワークライミング、ポローネの実技を行った。



沢・登攀研修に参加して……………こぶし山岳会 田中 清子

6月18日から19日にかけて滝野自然学園と漁川で研修会が開催されました。

◎ 一日目 沢登り技術とGPS活用の講義と懇親会

益田講師からは「沢登りの魅力と面白さ」というテーマで自分の体験談をスライドの写真を交えながら語っていただき、芳澤講師からは具体的に沢の歩き方・渡渉方法などを教えていただきました。

GPSの講義では、実際に研修所の外に出て操作し、GPSの精確さを体験しました。しかし基本は地図読みとコンパスであること、両者を使い分けしてこそ、より安全が保てることを学びました。

食後の懇親会は大いに盛り上がり、就寝時間を過ぎても続いてしまいました。翌日5時起床ということをおぼろげに忘れての大騒ぎ、山の仲間と飲む酒は美味しく楽しいので仕方ありませんが、実技前日はほどほどに…

◎ 二日目 漁川での実技

前日の雨が嘘のような青空の中での入渓となりました。A・B班に別れて、難波講師・佐藤精久講師の指導のもと、沢歩き・渡渉・へつり・フィックスロープ・懸垂下降などの実技訓練をしました。

A班はF1でシャワークライミングの実技、B班は釜でリュックを付けて泳ぐ訓練をしました。6月の沢の水は想像以上に冷たかったこと、釜で泳いでも進まないこと、リュックで浮くことなど身をもって体験できました。

今回は、上級指導員を目指し勉強中の指導員4名の方が講義と実技を分担して下さいました。講師の皆さんの情熱がヒシヒシと伝わってきた素晴らしい研修会だったと思います。ありがとうございました。



遭難対策委員会

夏季遭難対策研修会 5/21-22 日高登山研修所

昨年の北海道内で発生した山岳遭難事故は49件で、9名の登山者が遭難死している。事故原因の一位は転落・滑落で16名、二位は道迷いで11件発生しているため、今年度の研修をアンケート等で希望の多かった地図を正確に読むこと、コンパスの使い方について、野外での実践を通じて楽しみながら学習することを目的に開催した。

道岳連会員・一般登山愛好者を参加対象とし、5月21日～22日に道岳連日高登山研修所と周辺地域において20名が参加し、1日目は座学形式の①道内山岳遭難状況と分析 ②地図読みで登



山計画書をつくろう(グループワーク) ③地形図の雑学 を研修。

2 日目は、班分けをして歩測の事前研修をした後、研修所周辺に移動し設定されている定点ボスの地形を正確に地図に記入し、コンパスを使用した実践研修を行った。

普及委員会

夏山安全登山講習会 6/26 トムラウシ山

6月26日(日)トムラウシ山(2141m)で開きました。

今まで中高年対象の登山会だけでしたが、今年度は年齢層を拡大して若い層を対象に取り組みました。初めての取り組みにもかかわらず17名が参加、指導員3人がサポートして快晴の中無事終了しました。登山の休憩時間を利用して地形図の見方、コンパスの使い方の講習は好評でした。

残念ながら3人がリタイヤしましたが、トムラウシ山の大きさと奥深さを体験し、簡単な気持ちでは登れない事を実感していただけたと思います。 報告 普及委員長 荒堀 英雄

夏のトムラウシ安全に…管内外 17人登山し技術学ぶ 6.27 十勝毎日新聞

北海道山岳連盟(道岳連)は26日、大雪山系トムラウシ山(2141m)で夏山安全登山講習会を開いた。十勝管内をはじめ、釧路や苫小牧、旭川などから20代~70代の男女17名が参加。コンパスの使い方など基礎的な登山技術を学び、山頂を目指した。

近年、日本百名山ブームなどで登山愛好者が増える中、基礎的な知識や技術を身に付け、安全で楽しい登山を長く続けてもらおうと企画した。

一行はトムラウシの短縮登山口から登山開始、1時間ほど登った休憩地点で、地形図とコンパスを使った進路の確認方法について簡単な講習に臨み、道岳連普及委員会の荒堀英雄委員長=新得山岳会所属=が「道が分岐する時の進路決定にも有効」などと説明した。まだ雪渓が多く残る登山道を進み、登山開始から5時間40分後の午前11時20分にスタッフを含めて15人が登頂。全員が無事下山した。



トムラウシ山頂上

登山歴5年で、念願のトムラウシ初登頂となった旭川市の会社員丸山 勉さん(42)は、2年前にツアー客ら9人が死亡した遭難事故の印象から多少不安があったが「天気さえ良ければ何も問題はないと感じた。迫力のある山で、技術を身に付け、上川側から縦走で来たい」と満足そうに話していた。

同委員会は毎年、中高年を対象に講習会を開いているが、若手も含めての開催は初の試み。荒堀委員長は「低体温症や装備、気象などの机上講習も行い、これからの人をターゲットに続けていきたい」と話していた。

第 20 回北海道中高年安全登山講習会 7/16-17 トムラウシ山

20 回目の記念すべき中高年安全登山講習会を、新得町の湯宿くったり温泉レイク・イン及びトムラウシ山で参加者 36 人、指導員 9 人で開催しました。

机上講習では、7 月 3 日道迷い遭難があったばかりなので、参加者は真剣に学んでいました。

17 日のトムラウシ山登山は霧雨状態の中を出発したが、数日前からの雨でどろどろにぬかるんだ登山道に悩まされ、濡れて寒さが増してくる状態になったので、山頂一步手前のトムラウシ公園で中止し下山しました。

参加者一同、晴れの日なら難なく登れる山も、悪天候では生命の危険を伴うことを実感され「無理をしない勇気ある撤退」が大事であることを学ばれたと思います。今年は、一昨年の大量遭難事故の 3 年目にあたり、マスコミ各社も北海道山岳連盟の普及活動に注目し取材に入りました。

報告 普及委員長 荒堀 英雄



ジュニア育成事業「夏季ジュニア登山教室」 中止

8 月 6 日～7 日にかけて十勝岳連峰及び国立大雪青少年交流の家を会場に開催する予定で募集を開始しましたが、応募者が少数のため 7 月 15 日の常任理事会で中止することが決定されました。事業継続に向けてカリキュラム並びに募集の方法等を練り直したいと存じますので、加盟団体の皆様には引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。 普及委員会ジュニア担当 増子 麗子

北海道教育互助センターの

「平成 23 年度 チャレンジ！アウトドア」登山を 山岳指導員の活動の場としてサポート

7 月 29 日～30 日、北海道教育互助センター主催の「チャレンジ！アウトドア」が大雪山国立公園の ①旭岳～黒岳縦走 ②銀泉台～赤岳～黒岳縦走 ③ユニ石狩岳往復 ④黒岳往復 の 4 コースを舞台に、100 名を超える道内公立学校の現職・OB の教職員とその家族が参加して開催された。

この事業には例年、道岳連はそのサポートを依頼されているが、連盟としては山岳指導員・コーチの活動の場として協力することにしている。サポーターとしては新しく資格取得した方を中心に、できるだけ沢山の指導員に活躍してもらいたいとの趣旨で人選をしている。

例年は20名前後の方々に活動してもらっているが、今年は互助センターの予算の関係で14名と少ない人員でサポートした。

結果はサポーターの力量が遺憾なく発揮され、参加者の落伍者1名もなく、事故その他のトラブルもいっさいなく終えることができた。

今後も互助センターの要請があれば、指導員の活動の場として協力活用していい期待と思っている。

自然保護委員会

自然保護委員会研修会 7/9-10 函岳・松山湿原・十六滝、びふか温泉

◎参加者 講師含め17名

◎研修内容

【1日目】 びふか温泉

講演 「大雪の高山植物」他 講師 野呂 一夫 氏

【2日目】 現地研修

函岳(1129m)登山(車にて山頂へ)～四滝見学(激流の滝 高広の滝 雨霧の滝 女神の滝)
～松山湿原散策～閉会式(修了証書授与)～解散

今回の講演は、昭和53年に北海道新聞社から出版された「大雪の高山植物」の著者である野呂一夫氏に来ていただきました。本を出版された時のエピソード・苦労話をユーモアを交えながらたくさんの高山植物をスライドにて紹介してくださいました。なかでも、今にも種子が飛び出そうとしている「ワタスゲ」の写真はすばらしく、野呂氏の自然に対するやさしさと情熱を感じさせられた一枚でした。

意見交換会では、登山道の整備の状況や問題点、盗掘の状況、クリーンハイクの活動報告、研修会参加人員が少ないことなど様々な角度から意見がありました。今後の自然保護委員会の活動の参考にさせて頂きたいと思っています。

10日は朝から雨でしたが、予定の実地研修を全て実施することができました。想像以上に高植物が多かった函岳の頂上、神秘的たたずまいの松山湿原など、美深地区の自然を満喫した一日となりました。

報告 自然保護委員長 佐藤 健 事務局 田中 清子



霧の松山湿原

競技委員会

JFAユース選手権2011 5/4-5 千葉県印西市 松山下公園体育館

参加者 男子 84名 女子 55名 計 139名

北海道選手の成績(代表選手は、2月札幌で行った選考会で選抜した男子6名、女子3名)

氏名	学校名・学年	生年別カテゴリー	カテゴリー順位
小武 芽生	札幌市立宮の丘中学校2年	女子 ユースB	2位
佐々木 里穂	札幌市立中央中学校3年	女子 ユースB	6位
橋本 菜稀	遠軽高等学校2年	女子 ユースA	12位
小山 彬	札幌市立八軒中学校3年	男子 ユースB	10位
佐藤 嘉晃	札幌西高等学校2年	男子 ユースA	15位
菅原 宏介	遠軽高等学校2年	男子 ユースA	26位
早坂 翔	美唄工業高等学校3年	男子 ジュニア	22位
西村 望	富良野緑峰高等学校3年	男子 ジュニア	26位
天野 拓哉	札幌稲西高等学校3年	男子 ジュニア	27位

※カテゴリー区分 ・ジュニア（1992・93年生） ・ユースA（1994・95年生） ユースB（1996・97年生）

大会レポート …………… 遠軽高校 畑野 和宏

大震災の影響で、ユース日本選手権は予定から40日遅れの5月4-5日の両日、千葉県印西市で開催された。北海道からは男子6名、女子3名の出場である。前日の品川ロッキーでの練習では初段を落とす者もあり、各選手とも練習を充分積んできたように思う。

4日、予選は2本のフラッシング。可動壁2面に4ルートが設定され、左右同時に進行する。ルートセッターによるデモンストレーションのあと、最初に登場したのが男子ユースBの小山選手。全国大会初出場であり緊張も心配されたが、長い手足を生かし垂壁部も難なくこなす。第一核心の緑巨大ホールドで両足が切れフォール。女子ユースBは佐々木選手からのスタート。本人曰く「緊張しない」登りで難なく完登。ルート自体を易しいと感じており、好調さが伺える。続くは小武選手。佐々木選手とは別のCルートに登場。こちらも落ち着いた登りで余裕の完登。本人は「5.11aぐらい」に感じたようだが、女子ルートは2本とも「5.11b/c」、男子ルートは左5.12d、右5.13aとのこと。

4人目はユースA菅原選手。緊張からか遠いホールドに力を使い、垂壁最上部でフォール。続く佐藤選手。同じAルートで完登の期待がかかる。前半、中盤も落ち着いた登りであったが、ゴール手前のスローパーのつかみが下すぎてつかみきれずフォール。15位のスタートとなる。続いて男子ジュニアの天野選手、本人の弁では緊張してガチガチだったとのこと。垂壁に続くカチと距離の遠いホールドで消耗し、フォールする。同じく



ジュニア西村選手。長身を生かして迷いなく垂壁を進む。クリップをとばして斜壁に突入するが、ホールドが甘く下りてクリップへ、そのホールドも甘くクリップにも嫌われフォール。Dルートには早坂選手が登場、こちらも甘いホールド、カチが多いが下部は落ち着いて進む。ルーフ下部のボール状ホールドへのヒールフックが決まらずフォール。女子ジュニアCルートに橋本選手。ここ数ヶ月で急成長している。垂壁部は危なげなく通過するが、ルーフ部の巨大ガバが甘く、右足の置き所にも苦しみ手をとばすもフォール、11位につけた。

1本目を終えて完登は2名、決勝進出に向け2本目の登りに全力を尽くさなければならない。1番手小山選手。下部は安定して通過するもボール状ホールドから2手左手を進めたところで足

を乗せきれずフォール。トータル10位と健闘。2,3番手は佐々木、小武選手、それぞれ情報を交換し合い、落ち着いて登る。2人とも全く危なげなく完登。1位タイで決勝進出となる。4番手、菅原選手。本人らしい思い切りのよい動きでボール状ホールドへ、クリップに二度嫌われ、思い切って左手をとばすもフォール。ユースA26位であった。続いて佐藤選手。決勝進出のためには完登が必要である。1本目よりさらにスムーズなムーヴで進むがゴール5手下の巨大スローパーを保持したところでフォール。15位で決勝進出を逃す。6番手は天野選手。下部のカチホールドで指を使い、ギリギリのムーヴで上位を目指す惜しくもフォール、27位。続く西村選手。思い切りよく遠いホールドにもテンポよく攻め、球状ホールドの3手先までタッチしフォール、26位。8番手早坂選手。Aルート下部は難なく進む。緑巨大ホールドの両手持ちにも耐え、次のホールドにタッチしてフォール、22位。予選最後は女子ユースA、橋本選手。前半、石を見逃し苦しいムーヴが続く。ルーフ部に届く前に力尽きフォール、12位で終わる。

反省会では「悔しい」の声も多く、より強くなりたいとのモチベーションにつながった。しかし、カチやスローパーの処理、クリップポイントの見極めなど練習次第で課題も解決できるように感じた。

翌5日、決勝のグレードは男子が13後半、女子が13aくらいか？女子ユースA、小武選手は全く危なげなくゴール9手下まで進む。リズム、ムーヴとも申し分なかったが、足が拾えず、次の一手に触れるも保持に苦しむ。何度も足位置を変えようと試みるがフォール。ユースA最後に登場の佐々木選手も落ち着き払って上部へ。小武とは違うムーヴでその地点を通過し、2位に浮上してフォール。しかし、「時間オーバー」の判定で、小武2位、佐々木6位との結果であった。

総じて、ユースA・Bの女子、男子ユースBの強さを感じた。北海道には佐々木、小武に続く女子、男子は12、13を当たり前に登る選手の台頭が望まれる。全国大会を経験した者がその役割を担ってほしいものである。

海外委員会

国際委員会総会、海外遭難研究会 6/18-19 南アルプス芦安山岳館

平成23年度の国際委員会総会と第30回海外遭難対策研究会が、6月18日～19日の両日山梨県の南アルプス芦安館で、講師や役員を含め総勢38名の参加で開催された。

【国際委員会 報告】

・国際委員会の委員長交代 新委員長は佐藤光由(群馬県)・平成22年度海外登山奨励金 GIRI GIRI BOYS ウルタルII峰登山2011・50周年事業、海外登山隊クロニクル・トークショーは各回とも広告知がよく大勢が集まる・ウインター・クライマーズ・ミーティングが栃木県連の協力で足尾の岩場で行われた。総勢32名。日山協は効果ありとして予算増額した。・山梨県山岳連盟は、一昨年の60周年でムスターグ・アタ峰登頂成功後、70周年に向けての遠征隊を見据えた中で、定期的な遠征派遣として2010年9月中国四川省、双橋溝に登山隊を送った。①未踏峰・アピ山(5,594m)登山隊3名 途中下山 ②牛心山(4,942m)登山隊2名 南東壁開拓、日本人初登頂 ③双橋溝トレッキング隊3名

【海外遭難対策研究会 報告】

講演：「世界の山岳気象と最近の傾向」(株)メテオテック・ラボ 猪熊氏

講演：「日本のヒマラヤ登山の進展」 日本ヒマラヤ協会顧問 山森氏

報告 海外登山委員長 工藤 寛

平成23年度定期総会・第1回理事会

平成23年度北海道山岳連盟定期総会・第1回理事会は、5月8日(日)道立総合体育センターで加盟49団体、61名の代議員(委任状23名)が出席して開催された。

提出議案は、第1号 平成22年度事業報告 第2号 平成22年度収支決算報告 第3号 会計監査報告 第4号 平成23年度活動方針及び事業計画案 第5号 平成23年度予算案 第6号 加盟団体の脱会 第7号 ア)第25回北海道山岳連盟交流登山会 イ)第3回北海道トレイルランニング大会 ウ)60周年記念準備 が上程され、原案通り議決された。

平成23年度の事業執行にあたり神山理事長は、前年度の課題を踏まえながら ①各山岳団体との連携 ◇諸行事への参加・協力を一層促す ◇各団体間の情報交換・協力がより緊密になるよう努力する ◇事務局と各加盟団体との連絡にできるだけメールを活用したい。メールで連絡を受け取ることのできる団体はその由登録してもらいたい ②山岳指導員の活用 ◇山岳指導員の意識と意欲をより向上させるため、研修を推進する ◇山岳指導員の活動の場を広げる・・・岳連事業積極的役割、各山岳会行事での活用など ③道内山岳界の活性化と未組織登山者への対応 ◇広報活動の検討推進 ◇山岳会の活動のメリットが一般に浸透する努力 ◇安全登山の追求 ④連盟事務局の活性化 を重点項目とし事業を推進していくことを表明した。

また、2012年に道岳連盟が創立60周年を迎えるにあたり、記念事業企画委員会の設立が提案され、土屋副会長、宮西監事、神山理事長、石丸事務局長、工藤常任理事が委員に選任された

今後の諸行事

◎高所登山講習会

期 日 平成23年8月20日(土)～22日(月)
会 場 富士山(日本一の富士山山頂に泊まる)
※ 申込み受付終了

◎第25回北海道山岳連盟交流&研修登山阿寒大会

期 日 平成23年8月27日(土)
～28日(日)
会 場 国設阿寒湖畔スキー場内広場
参加者 327名(8月15日現在)
主 管 釧路山岳連盟

今回は雄阿寒岳・雌阿寒岳・阿寒富士を中心とした登山5コースの他に、環境庁の特別許可を受けて雌阿寒川・白水ボッケ・雄阿寒岳旧道など自然環境調査2コースが加えられ、さらに自由

参加2コースが設定されたユニークな大会となる予定。



雌阿寒岳から剣ヶ峰方向へ向かう
釧路市民交流登山会一行(6/12)

◎平成 23 年度 道岳連「仮称」レディースデー

1. 主 催 北海道山岳連盟・指導委員会
2. 目 的 夏山における女性グループだけの自立した安全登山の普及と技術の向上を目指す
3. 期 日 平成 23 年 9 月 10 日(土)～11 日(日)
4. 場 所 武華山～武利岳縦走
5. 日 程 9/10 11:00 北見市留辺蘂町 滝の湯温泉「夢風泉」集合
留辺蘂丸山(769m)にて、地図読みの学習～16:00「夢風泉」宿泊(素泊まり)
9/11 6:00 武華山登山口～武利岳縦走(同コースを引返す) 15:00 解散
6. 持 物 夏山装備一式(1/25000 地形図、コンパス必携)
7. 対 象 道岳連加盟団体女性会員(募集人員 15 名)
8. 参加料 7,000 円(参加料は当日徴収)
9. 講 師 CL 下山シゲ子(釧路山遊会) SL 佐藤裕子(釧路グレンジャークラブ)※H.23 上級指導員養成者
10. 申込締切 8 月 25 日(木) ※定員になり次第締切りとします。
11. 申込方法 郵送・FAX・メールで、住所、氏名、連絡先、所属山岳会を記入の上下記へ申し込み
〒085-0065 釧路市美原 3 丁目 24 番 20 号 下山 シゲ子
TEL&FAX 0154-36-3431 携帯 090-1525-6851 E-メール ss1010@snow.plala.or.jp

◎日体協公認山岳指導員(スポーツクライミング)養成講習会

1. 日 程 平成 23 年 9 月 23 日(祝)～24 日(日)及び 11 月 19 日(土)～20 日(日)
2. 会 場 北海道立青年の家「ゆーすくる おとえ」 深川市音江町 2-7-1
3. 受講料 専門科目 18,000 円 共通科目 I 24,000 円 施設宿泊料、食事代は別途徴収
4. 問合せ 道岳連競技委員長 山納 秀俊 TEL090-2816-2241 E-メール h-sannoh@hokkaido-c.ed.jp

◎第 3 回北海道アウトドアフェスティバル(トレイルランニング大会)

1. 期 日 平成 23 年 9 月 23 日(金)～24 日(土)
2. 会 場 ルスツリゾート・貫気別岳周辺(留寿都村)
3. 参 加 参加申込み期間 6 月 1 日～8 月 31 日
3. 主 催 2011 北海道アウトドアフェスティバル実行委員会(北海道山岳連盟 共催)
※道岳連派遣競技役員は 7 月 20 日 取りまとめ済み

(お礼)

道岳連事務局およびアウトドアフェスタ実行委員会の動員要請を快く引き受けていただき、ここに謹んでお礼申し上げます。

道内の 7 つの地方連盟・山岳会から 7 月末現在 43 名の方々が行動役員を引き受けていただきました。これで一応の目処がついて一安心と言ったところですが、本当に有難うございました。

ただ、まだ具体的な案が完成されていませんし、参加者も確定していません(締め切りは 8 月末)ので、場合によってはいまま少し増員しなければならないかもしれません。その折はまた書く団体にお願いいたしますので、よろしくご協力をお願いします。

理事長 神山

◎林道の鍵について 北海道森林管理局

平成23年は国際森林年でもあり、多くの国民に国有林に入らせていただき楽しんでいただくために、林道ゲートを次の3つのタイプに区分します。

- (1) 散策や登山などニーズの高い林道は、通行の安全が確保される場合は通行を認め、常時ゲートを開放します。
- (2) 通行の安全が確保できず、事業実行に支障のある場合はゲートを施錠（止め番；オリジナル錠）閉鎖し、鍵は貸し出ししません。
- (3) ゴミの不法投棄やすれ違いができない場合はゲートを閉鎖施錠しますが、申請（入林手続）があれば鍵を貸し出すかナンバーをお知らせします。（入りこみ車両数を制限する場合は止め番、それ以外はダイヤル錠）

林道ゲート関係 「森林整備部森林整備第二課」 011-622-5219

乳林手続関係 「計画部国有林管理課」 050-3160-6286

◎駒ヶ岳入山規制緩和

平成23年から次のように登山規制が緩和されます。

- ・期間 6月1日～10月中旬
- ・入山届（当日・現地でも可）があれば登山道
赤井川登山道・・・馬の背まで入山できる。6合目まで車で入れる（駐車場有）。
銚子口登山道・・・馬の背まで入山できる。登山口に駐車できない。

◎道警ホームページ内に「安全登山情報」新設

道警ホームページ内に「山岳遭難防止コーナー」を作成し、そのメインページ上に「安全登山情報」を新設します。各山岳ごとの遭難発生状況、登山計画書の様式、過去5年間の山岳遭難発生状況が掲示されます。

追加報告

◎第66回国民体育大会道代表選手決定

8月6日7日の両日ノースケイプジム（札幌）で行われた国体北海道ブロック予選の結果、次の各選手が北海道代表として、10月2日から山口県で開かれる第66回国民体育大会に出場することになりました。選ばれた各選手の健闘を祈ります。

成年男子	監督	橋村昭男（えぞ山道会）	
	選手	國谷斗馬（道山岳連盟）	杉本 怜（早稲田大2年）
	補欠	奥谷和也（道山岳連盟）	
成年女子	監督	一安敏文（道山岳連盟）	
	選手	萩原亜咲（道山岳連盟）	坂本 瑛子（道山岳連盟）

	補欠1	成田 宇古 (道山岳連盟)	2河本 育恵 (道山岳連盟)
少年男子	監督	木村 宣幸 (高体連札幌西高教諭)	
	選手	佐藤 嘉晃 (札幌西高2年)	早坂 翔 (美唄工業3年)
	補欠	西村 望 (富良野緑陵高3年)	
少年女子	監督	畑野 和宏 (高体連遠軽高教諭)	
	選手	佐々木 理恵 (札幌中央中3年)	橋本 菜稀 (遠軽高2年)
	補欠	大泉 彩 (遠軽高定時2年)	

道岳連Tシャツ 日本百名山北海道バージョン

第4弾「トムラウシ山」 販売中



- 価格 2,500円 (前年同額) ●カラー 黄色、ネイビー、濃いピンクの三色
- サイズ L. M. S (ピンクはM. Sのみ)

道岳連だより 北海道山岳連盟広報 No.62 平成23(2011)年8月27日 発行

発行 北海道山岳連盟

事務所 札幌市豊平区平岸2条9丁目1-4 7-502

発行責任者 小野 倫夫

編集担当(総務) 内藤 美佐雄